

会議録（１）

会 議 の 名 称	令和7年度 第1回入間市放課後子ども教室事業運営協議会
開 催 日 時	令和7年7月29日（火） 午前 10時00分開会 午前 11時30分閉会
開 催 場 所	入間市庁舎 B棟5階 第2委員会室
議 長 氏 名	村野 裕子
出席委員(者)氏名	内田 憲二 増山 宗隆 三枝 陽子 晝間 達夫 加藤 喜代江 小林 知恵 吉川 哲夫 村野 裕子 関谷 敦子 山増 智子
欠席委員(者)氏名	早瀬 一恵 福地 雅志 石川 和子 須田 健一郎 梅 裕晶
説明者の氏名職	5. 報告事項 (1) 入間市放課後子ども教室について 田畑主事補 (2) 令和7年度1学期報告と今後のスケジュール 田畑主事補 (3) 意見交換（放課後子ども教室事業や運営協議会の今後について） 小野主査
会 議 次 第	（入間市放課後子ども教室事業運営協議会は、条例・要綱に基づき公開） ○委嘱状交付式 1 開 会 2 委嘱状交付 3 放課後子ども教室事業運営協議会委員自己紹介 4 事務局自己紹介 5 閉 式 ○第1回放課後子ども教室事業運営協議会 1 開 会 2 入間市放課後子ども教室事業運営協議会について 3 正副会長の選出について 4 正副会長あいさつ 5 報告事項 (1) 入間市放課後子ども教室事業について (2) 令和7年度1学期報告と今後の運営スケジュールについて (3) 意見交換（放課後子ども教室事業や運営協議会の今後について） 6 その他 7 閉 会
傍 聴 者 数	2人
配 布 資 料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	黒木こども支援部部長 豊泉こども支援部次長 宮岡青少年課長 小野青少年課主査 杉山青少年課主査 田畑青少年課主事補 三浦社会教育指導員
会議録作成方法	要点筆記

会議録（２）

議事の概要（経過）・決定事項

第１回入間市放課後子ども教室事業運営協議会

○入間市放課後子ども教室事業運営協議会 委嘱状交付式

- １ 開 会（小野主査）
- ２ 委嘱状交付（黒木部長、田畑主事補）
- ３ 放課後子ども教室事業運営協議会委員自己紹介（出席委員）
- ４ 事務局自己紹介（事務局）
- ５ 閉 式（小野主査）

○第１回放課後子ども教室事業運営協議会

- １ 開会（小野主査）
- ２ 入間市放課後子ども教室事業運営協議会について（宮岡課長）
- ３ 正副会長の選出について（黒木部長）
- ４ 正副会長あいさつ（村野会長、関谷副会長）
- ５ 報告事項
 - （１）入間市放課後子ども教室事業について（田畑主事補）
 - （２）令和７年度１学期報告と今後の運営スケジュールについて（田畑主事補）
 - （３）意見交換（放課後子ども教室事業や運営協議会の今後について）（小野主査）
- ６ その他（田畑主事補）
- ７ 閉会（関谷副会長）

会議録（３）

発言者	発 言 内 容
青少年課	入間市放課後子ども教室について 配布資料P 1 2～P 1 5 資料5 ・入間市放課後子ども教室事業について ・放課後子ども教室とは？ ・放課後子ども教室実施における基本事項 ・放課後子ども教室スタッフ等の役割 ・放課後子ども教室申込の流れ ・夏休み出張わく☆ドキッ！ について説明
会長（議長）	入間市放課後子ども教室事業について、何かご質問はございますか。
山増委員	スマホによる放課後子ども教室の申し込みを見落としてしまう保護者がいるようです。紙面による配布ができないようですが、何か良い方法はないのでしょうか。
会長（議長）	現在の申し込み方法になった経緯をお聞かせください。
青少年課	小学校からのチラシ配布ができなくなり、リーバー配信、ライン配信に変更になりました。2学期以降も申し込みの流れや方法に変更はありませんが、児童への周知強化を目指し、児童が使用するタブレット端末に情報配信をする予定です。
会長（議長）	色々な方法を試していただいて、現在に至っているのですね。
青少年課	本年度、1学期の募集については保育幼稚園課にご協力いただき、新1年生が通っている保育所にも募集ポスターを掲示させていただきました。
増山委員	学校では帰りの会で児童に配布するプリント類は時間の関係などもあり極力、少なくしたいと考え、チラシの配布をご遠慮いただいているところですが、 しかし、希望する児童が手に取って持ち帰ることができるようなコーナーを設置していますので、そのような場所にチラシを置いていただくことは可能だと思います。 また、本校では教頭先生より、各家庭に放課後子ども教室募集についてリーバーで放課後子ども教室の案内が来ています。登録を忘れないようにと配信をしていますので、他の小学校にも青少年課より教頭先生に依頼する方法もあるかと思っています。

会長(議長)	令和7年度1学期報告と今後の運営スケジュールについて説明をお願いします。
青少年課	それでは、令和7年度1学期の実施報告をさせていただきます。 令和6年度3学期に落選者が出ましたが、令和7年度1学期の落選者はいませんでした。 令和7年度1学期は、延べ参加者人数471人で実施しました。令和6年度の平均申込者数511人と比較すると、若干の減少が見られます。これは、令和6年度2学期から申込方法がリーバー配信から入間市ホームページからのライン申し込みへと変更されたことが一因ではないかと考えられます。 また、参加の中心になっている小学校1年生から4年生の児童が令和4年度より令和7年度で減少傾向にあることも、参加者数の減少に影響していると推察されます。 P17、P18に掲載してありますのは今学期、市内16校で実施したプログラムの内容です。P19は令和4年度から令和6年度までの各小学校の年間参加人数と実施回数です。 次に、令和7年度申込方法と周知方法についてです。 令和7年度1学期から参加者の支払い方法をオンライン決済へと移行しましたが、現時点で大きな混乱や市民からの苦情は寄せられていません。なお、オンライン決済が難しい方については、従来通りの現金での窓口対応をしています。 2学期以降も、申し込みの流れや方法に大きな変更は予定していませんが、児童への周知強化を目的に、児童が使用するタブレット端末への情報配信を予定しています。ただし、学校ごとのプログラムを個別に配信することはできないため、児童への配信内容は「わく☆ドキッ！開催のお知らせ」のみとし、詳細なプログラムについては各学校に掲示するポスターにて周知する予定です。保護者へのライン配信は1回、児童へのすぐーる配信も1回行う予定です。 資料8 令和7年度2学期詳細スケジュールについて説明
会長(議長)	令和7年度2学期詳細スケジュールについて質問があればお願いします。
青少年課	保護者へのライン配信は1回ではなく、2回に訂正
山増委員	放課後子ども教室の講師を招致する際にまちの先生リストは活用しているのか。
青少年課	活用させていただいています。
小林委員	プログラム作成の際の参加費について、説明をお願いします。

青少年課	材料費がかかる講座について、上限５００円を設定しています。そして、複数コースある場合には無料のコースも作成するということです。
会長(議長)	意見交換を行います。事務局よりお願いします。
青少年課	放課後子ども教室事業や運営協議会の今後ということで、２２ページになりますが、資料９入間市放課後子ども教室の推進のためにという、令和３年３月３０日の運営協議会にて議決されました提言書をご用意しました。 放課後子ども教室は平成２７年度の西武小学校・高倉小学校で実施を開始し、令和元年度２学期より市内１６校全校で実施がなされております。開始から１０年経った今も地域住民の参画を得て、子どもたちに様々な学習、体験、及び交流活動の機会を提供する事業となっております。 しかしながら、２３ページから２５ページの提言にあるような ①子どもたちが自分たちで考え、自分たちで決めていく力を伸ばす機会の提供 ③誰しものが参加できる仕組みづくり ④体をつかう楽しさを学ぶ機会の提供 ⑤共働き家庭の支援 このあたりの課題は現状の放課後子ども教室を行う中では、まだまだ改善の余地があることと思われます。 解決に至っていない背景には、放課後子ども教室事業の目的に、子供たちに学習や様々な体験・交流活動の機会の提供をするという目的があり、入間市で行っている放課後子ども教室は、自由遊びというよりも、どちらかという体験型に特化し、強みにして事業を進めているといったところが背景にあるものと考えております。 一方で、放課後子ども教室の目的として、子どもたちの安全で安心な活動拠点を設けるとい居場所づくりのような目的もあります。新型コロナウイルス感染症の拡大により、人と人との接触が制限されたことによる影響により、こどもたち同士、また、地域との繋がりの希薄化が叫ばれるようになって来ました。居場所がないこども。というような言葉もこのコロナ禍以降に目にする、また、耳にすることが多くなってきた言葉のように感じます。 現状の放課後子ども教室は、子供たちに学習や様々な体験・交流活動の機会の提供をするという目的のもと、体験型に特化し、強みにした、充実した事業を進めているところではありますが、提言書にあるような、 ・子どもたちが自分たちで考え、自分たちで決めていく力を伸ばす機会の提供 ・誰しものが参加できる仕組みづくり ・体をつかう楽しさを学ぶ機会の提供 ・共働き家庭の支援

	といった課題の改善が行えないか、今後の放課後子ども教室事業の運営について検討を行いたく、委員の皆様と意見交換の時間とさせていただければと思っております。少し難しくなりましたが、こどもの放課後について考えるという機会にもしたいと思っておりますので、こどもの放課後に携わっている委員の皆様も多いかと思います。ご意見いただければと思います。 以上、ご説明とさせていただきます。
会長(議長)	この提言書を作成した背景について関谷委員より説明をお願いします。
副会長	2校から始まった放課後子ども教室が4年かけて市内16校全校に拡大することができました。 子どもの間に体験格差が広がっているという社会課題に加え、市内の子どもたち全員が参加できて、自分たちで考えて体験できる楽しさを学ぶものとなるよう、また、放課後子ども教室以外の放課後についても考えたく提言を行いました。
会長(議長)	ご自身が子供のころに経験した放課後の過ごし方や子どもたちにとって豊かな放課後の過ごし方とはどのような過ごし方なのか、あるいは提言書についてでも構いませんので近くの座席の方と話し合ってください。
内田委員	学童保育室でプールの事故が報道されていましたが、入間市の学童保育室で、プールの使用はどのようになっているのですか。
青少年課	入間市の学童保育室では小学校等を利用してのプール使用はしていません。水遊びはしています。
内田委員	屋外での放課後子ども教室はあるのですか。
青少年課	校庭や体育館を使用したプログラムがあります。
吉川委員	放課後子ども教室の募集については市でやっていただいています、申し込みは保護者がしています。子ども自身で申し込みができないのが残念です。
山増委員	あそびあーとでは放課後の居場所作りをやっていて、口コミで地区センターに子どもが集まってきています。市の事業だと迎えまで責任をもつ必要がありますが、民間団体の事業なので、チャイムが鳴ると帰宅するようになっています。 講師として放課後子ども教室と関りを持っています。子どもたちが参加する際にどうしても時間差ができてしまうのですが、先にできてしまった子どもが後か

	ら参加して困っている子どもの手助けをしています。自然とそのようなことができていのは素晴らしいことであり、周りを助ける体験となることと思います。
三枝委員	生け花を使うプログラムで、放課後子ども教室に関わりを持っています。子どもの力がすごいと思うのは、活動をしている中で上級生が下の子を助けるなど、子ども同士の助け合いを見られることです。これからも子どもたちの見守りをしていきたいと思っています。
晝間委員	私が小学校の時には、帰れば、物置でかくれんぼをしたり、山に遊びに行ったりしました。今は共稼ぎが多くなってきているので放課後子ども教室に参加したい子、したくない子がいると思いますが、親が申し込みをしても本人が参加したくない場合は問題があると思います。また、5時までにお迎えとなっていて、夏場は明るいのですが、冬場は暗くなっています。その時にもお迎えはあるのですか。
青少年課	季節に関係なく、保護者に5時までのお迎えはお願いをしています。
晝間委員	小さな子どもは一生懸命活動していると思いますが、高学年の子どもはどうですか。
山増委員	高学年の子どもも一生懸命参加しています。
会長(議長)	プログラムが事前にわかっていて申し込みをするので、多くの子どもはやるのが分かるので、意欲を持って参加していると思います。
小林委員	提言書の中の子どもたちが放課後をより豊かに過ごすために、テレビゲームや携帯ゲームで遊ぶ子どもがたくさんいることが印象に残っています。 また、子どもたちが自ら人と関わることが減り、人間関係が希薄なまま成長して社会性に乏しくなり、人間関係につまずいてしまうのではないかと考えています。 放課後子ども教室に参加して友達と関わりながら社会性が身についていければよいと思います。
加藤委員	共働き家庭への支援ということでフードバンクいるまを運営しています。 未来ある子どもたちが未来につながる支援として必要な情報もいただければありがたいと思います。

増山委員	子どものころは真っ暗になるまで遊んでいました。学童を覗くとみんなで楽しそうに遊んでいる様子が見られるのでうらやましいなあと思いました。 今の子どもたちは制限がたくさんあるのでかわいそうだなあとと思うところもあります。 今後は放課後子ども教室のプログラムの中に自分たちで工夫して活動できる余地があるようなプログラムがあれば、さらに良いと思います。 先ほど、加藤委員よりお話がありましたが、本校でも朝食を食べてこられない子どもがいます。朝食を食べてこないと午前中の授業に集中できないことがあり、支障をきたしています。保護者と連絡を取り許可をいただいて朝食を食べさせることもあります。
会長(議長)	色々なお話を伺う中でわく☆ドキッ！の中で工夫してできることとその粋を飛び越えて皆さんで考えていきたいことがありました。 それには今の子どもの現状を知ることが必要です。次回、関谷委員より、以前、お調べいただいた放課後の子どもたちのアンケートをご紹介いただければと思います。
副会長	2006年と2018年の過去2回、アンケート調査を行いました。それから、数年たっていますがある程度の傾向はわかると思います。
副会長	以上をもちまして、「令和7年度第1回入間市放課後子ども教室事業運営協議会」を閉会とさせていただきます。長時間に渡り、ご協議いただき、たいへんありがとうございました。
議事のてん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。 令和 7 年 8 月 26 日 議 長 の 署 名 <u>村野 裕子</u>	